

1 社会情勢等の変化

(1) 人口減少社会の到来と少子高齢化

平成 27 年（2015 年）をピークに本県の人口が減少傾向、少子化・高齢化が確実に進行、単独世帯（特に高齢者）が一層増加

(2) 暮らしを取り巻く状況

医師や看護師をはじめ医療専門職や介護福祉の人材不足や地域偏在、厳しい雇用状況が継続、重大な交通事故・犯罪・学校でのいじめ・児童虐待などの発生

(3) 経済環境の変化と新産業の展開

景況の回復、グローバル化の進行、IT の発達や SNS の急速な普及

(4) 低炭素社会の実現と自然環境の保全

東日本大震災後の化石燃料消費量の増加、琵琶湖の生態系をはじめ自然環境の変化

(5) 災害とインフラの老朽化への対応

東日本大地震や台風 18 号などによる大規模災害の発生、道路・橋梁、公共施設、ライフラインの老朽化の進行

2 将来の姿と現状・課題

(1) 暮らし

①健康

○健康的に生活できている

[現状・課題]・生活習慣病などにつながる栄養・食生活の一層の改善

- ・子どもの体力の低下
- ・女性の健康寿命が全国最下位
- ・依然として多い自殺者、うつ病患者の増加
- ・高齢者の生きがいや居場所づくりによる社会参加の促進

○必要な医療・介護が受けられる

[現状・課題]・医師、看護師等の医療専門職・介護福祉の人材は増加しているものの、依然として不足・偏在

- ・がん検診等の受診率が向上
- ・3 人に 1 人ががんで死亡する時代が到来
- ・生活習慣病の増加
- ・高齢化に伴う医療・介護連携体制の拡充が必要
- ・高齢化に伴う認知症の増加

②働く

○安心して働いている

[現状・課題]・保育所入所児童は増加しているが、依然として待機児童問題は継続

- ・失業率は全国平均より低い傾向であるが、ここ数年は高水準で推移
- ・中小企業では人手不足
- ・非正規雇用者の増加
- ・早期離職や無業など、就労のミスマッチ
- ・起業の拡充、継続確保が必要
- ・職場におけるメンタルヘルス疾患の増加
- ・パワハラ・セクハラ等の発生

○女性が社会の様々な分野で活躍している

[現状・課題]・男女共同参画センターの支援を受けて活躍する女性の増加

- ・生産年齢人口の減少、社会保障費の増大
- ・高い非正規雇用率、30歳代就業率の低下
- ・女性の潜在力を生かした社会での活躍の促進

○若者が夢を抱き社会で意欲的に活躍している

[現状・課題]・早期離職者は減少傾向にあるものの、離職や無業が依然として高い水準

- ・若者の能力を生かした社会での活躍の促進

○障害者が希望を持ち社会でいきいきと活躍している

[現状・課題]・障害者の雇用は増加しているものの、特別支援学校高等部卒業者の一般企業への就職は低調

- ・障害者の能力を生かした社会での活躍の促進
- ・障害者の活動や社会への参加を制約・制限している社会的な障壁の除去

○高齢者が経験や能力を活かして生涯現役で活躍し続けている

[現状・課題]・生産年齢人口の減少

- ・医療費の増大
- ・高齢者の生きがいや居場所づくりによる社会参加の促進
- ・高齢者の経験や能力を生かした社会での継続的な活躍

③住む

○地域社会で支え合い、分かち合いながら安心して生活している

[現状・課題]・コミュニティや地域文化の継承・再構築への住民の取組が拡大

- ・高齢化、人口減少によるコミュニティ機能の低下
- ・中山間地域での集落の維持が困難
- ・地域文化の維持継承が困難
- ・65歳以上の単独世帯の増加
- ・高齢化の進行による犯罪弱者の増加

○歩いて暮らせる快適なまちが形成されている

- [現状・課題]・地球温暖化問題を契機とした徒歩、自転車、公共交通機関などのエコ交通への転換の必要性
- ・高齢者の生活交通手段等の確保が必要

○安全で安心な生活が送れている

- [現状・課題]・犯罪認知件数、交通事故死者数は依然として高い水準で推移
- ・児童生徒の通学時の事故の発生
 - ・自助・共助による地域の防犯力の強化
 - ・高齢化の進行による犯罪弱者の増加
 - ・情報通信技術の発展による、悪質な商取引をはじめとする犯罪被害の増加
 - ・農薬残留、産地偽装など食への不安の拡大

④学ぶ・育てる

○未来に希望を抱き子どもを持つことができる

- [現状・課題]・価値観の多様化や経済的問題などによる晩婚化、生涯未婚率の増加
- ・子育てに対する不安
 - ・教育に要する経済的負担

○こどもを安心して産むことができる

- [現状・課題]・周産期死亡率および新生児死亡率が改善傾向
- ・産科・小児科・麻酔科医が不足
 - ・晩婚化および高齢出産の増加
 - ・不妊治療の経済的負担
 - ・男性の育児休業取得率が低調

○日々喜びを感じながら子育てができる

- [現状・課題]・保育所入所児童が増加
- ・仕事と家庭を両立しやすい環境の整備が必要
 - ・ひとり親家庭の増加
 - ・家庭や地域における教育力の低下、相談相手の不足
 - ・虐待、育児放棄の発生

○子どもが夢を抱きたくましく生きる力が育まれている

- [現状・課題]・体験学習を受ける児童生徒数・機会は順調に増加
- ・不登校は減少傾向にあるが、依然として高い水準
 - ・キャリア教育のさらなる充実が必要
 - ・H25年度全国学力・学習状況調査（いわゆる全国学力テスト）においてほとんどの教科で全国の平均正答率を下回る
 - ・発達障害など特別な教育的支援が必要な児童生徒数が増加
 - ・いじめ、ひきこもりの発生
 - ・教職員の大量退職による教育力継続への懸念

⑤楽しむ

○心の安らぎ、地域や文化の魅力を感じながら暮らしている

- [現状・課題]・自然、芸術、文化財などの魅力の向上と一層の発揮
- ・東日本大震災や原発事故等に伴う不安の高まり
 - ・アールブリュット等の活動展開への環境整備が必要
 - ・地域活動等への参加の減少

○身近にスポーツを楽しんでいる

- [現状・課題]・国体・オリンピック・パラリンピック開催を契機にスポーツに親しむ
機運の醸成

⑥つながる

○多文化共生社会が実現できている

- [現状・課題]・グローバル化の進展
- ・外国人に対する生活支援体制の整備が必要

○外国人等が地域の担い手として活躍している

- [現状・課題]・生産年齢人口の減少、生産力の減少
- ・外国人等の能力を生かした社会での活躍の促進

(2)経済・産業

①経済・産業の活性化

○地域の商工業が活性化している

- [現状・課題]・工場等立地の進展
- ・環境・健康・医療等の分野における新産業創出への期待
 - ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度の開始による関連分野の需要拡大への期待
 - ・中小企業の9割を占める小規模事業所の従業者数の減少
 - ・商店街の後継者不足等による空き店舗の増加、中心市街地活性化の必要性

○活力のある地域が創出されている

- [現状・課題]・人口減少・高齢化の進行による地域の活力の低下
- ・少子化に伴う人口の自然減

○夢や魅力のある地域が創出されている

- [現状・課題]・美の滋賀など、地域の魅力や資源の活用促進
- ・国体を契機とした様々な分野での相乗効果への期待
 - ・地域のブランド力や観光地としての認知度の低さ

○意欲ある担い手により農業経営が行われている

- [現状・課題]・認定農業者や集落営農組織は一定確保
- ・認定農業者や集落営農組織の法人化などによる経営体質の一層の強化
 - ・担い手への農地の面的集積の促進
 - ・国の農政の転換やT P P交渉の影響

○環境との共生を目指した農林水産業が展開されている

- [現状・課題]・環境こだわり農業のさらなる展開
・農業者の環境保全意識が向上

○安全・安心で高品質な地域ブランドが根付いている

- [現状・課題]・地産地消の一層の推進
・地域ブランド力のより一層の向上
・高品質で安全・安心、新鮮さを求める消費者ニーズの高まり

②産業基盤の整備

○産業を支える基盤が整備されている

- [現状・課題]・産官学連携による共同研究件数が増加している
・産業を支える企業間の連携・交流の一層の拡充
・高齢化と少子化の進行に伴う技術の伝承や人材育成が必要
・グローバル化に対応した人材育成が必要
・交通ネットワーク等の整備の必要性
・農業生産基盤の老朽化の進行

(3) 環境

①自然環境の保全

○森林が適切に保全・管理されている

- [現状・課題]・国産木材の需要や価格が回復傾向
・県産材の活用の促進
・鳥獣被害、放置森林の増加
・地球温暖化の進行

○琵琶湖の水環境が保全・再生されている

- [現状・課題]・外来生物の増加、水草の異常繁茂
・北湖・南湖ともCODは高止まりの状況
・水質は改善されてきたが、生態系の機能回復につながらない
・在来魚の漁獲量の減少

○農業・農村の多面的機能が発揮されている

- [現状・課題]・農地・農業用水利施設等の適正な維持保全管理が困難
・耕作放棄地の増加

②低炭素社会の実現

○地域でエネルギー需給システムが構築されている

- [現状・課題]・再生可能エネルギーの導入の一層の促進
・電力需給のひっ迫等に伴う地域でのエネルギー自給の向上

○温室効果ガスの排出が抑制されている

- [現状・課題]・太陽光発電システムの住宅への導入は進んでいるものの、非住宅用を含め一層の導入の促進
- ・東日本大震災後の化石燃料への比重の高まり
- ・県域から排出される温室効果ガスの削減

○廃棄物の発生の抑制と資源化が進んでいる

- [現状・課題]・レアメタル等資源の枯渇
- ・大量生産大量消費型社会からの脱却

(4) 県土

①災害への対応

○大規模災害に強い地域が実現できている

- [現状・課題]・異常気象による局所豪雨等の頻発による風水害の発生
- ・地震や原子力災害の発生の危惧

○生活に必要なインフラの機能が維持されている

- [現状・課題]・道路・橋梁、上下水道などのライフラインやその他公共施設の老朽化の進行

②地域での危機管理

○地域全体で災害に備えた活動が行われている

- [現状・課題]・東日本大震災の発生に伴う災害への備えに対する意識の高まり
- ・自助・共助による地域の防災の強化

3 県政を取り巻く課題

(1) 地方分権改革の進展

- 地域のことは地域自らが決定し、実行できる地方分権改革の一層の推進
- 関西広域連合や中部圏などにおける広域行政の一層の推進
- 市町との役割分担と連携の強化

(2) 県財政基盤の確立

- 社会保障関係費、社会資本維持費の増大等に対応した行財政改革の推進
- 税財源の確保をはじめとする県財政の健全化

(3) NPOなどとの協働

- NPOやボランティアなどとの一層の協働

(4) 国体の開催

- 国体やオリンピック、パラリンピック開催を契機とした老朽化したスポーツ施設の再整備